



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

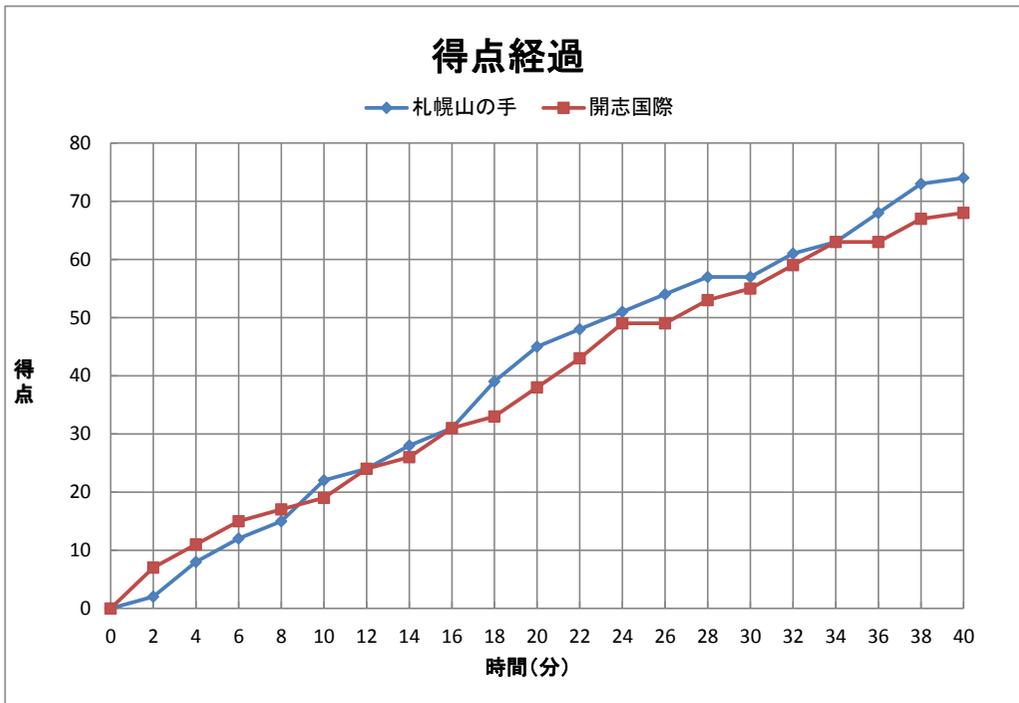
試合日	2016年8月3日
開始時間	10:00
会場	広島サンプラザ
コート	C
試合順	1

Team A	22 - 19	Team B
	23 - 19	
札幌山の手	74	68
	12 - 17	開志国際
	17 - 13	
(北海道)	-	(新潟県)

Team A 札幌山の手		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT						
4	*	栗林 未和	29	0	0	11	25	7	10	3	3	4	7	3	1	2	3	38:11
5		田中 未来	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	*	池田 玲奈	17	5	18	1	2	0	0	0	1	4	5	2	3	1	0	40:00
7	*	河村 美侑	9	1	2	3	7	0	0	3	1	2	3	2	4	2	0	37:13
8		太田 雛子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9		大島 ちさと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10		黒沼 咲百	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		遠山 佳奈	5	0	0	2	3	1	5	1	3	2	5	2	0	0	0	14:02
12	*	畠山 愛花	7	1	1	2	7	0	0	4	2	7	9	2	8	1	0	40:00
13		松永 夏海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:13
14	*	東藤 なな子	7	0	0	3	10	1	2	5	3	2	5	2	2	3	1	29:21
15		田村 春菜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
Team / Coach:		神田 英基	/	/	/	/	/	/	/	0	4	6	10	0	/	/	/	/
合計			74	7	21	22	54	9	17	16	17	27	44	13	18	9	4	200
RATE				33.3%		40.7%		52.9%										

Team B 開志国際		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT						
4		成田 夏乙	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
5	*	中島 彩衣	4	0	7	2	7	0	0	1	1	2	3	1	1	0	0	30:49
6		芳賀 朱里	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7		中村 杏海	6	2	4	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	14:08
8		田中 菜央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9		生野 瑞涼	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	7:49
10		横山 瑞希	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	3:23
11	*	船生 友香	6	0	1	3	6	0	0	1	5	3	8	1	4	0	2	33:01
12	*	船生 晴香	16	2	9	4	9	2	2	2	0	5	5	1	0	0	2	34:32
13	*	藤永 真悠子	15	0	0	4	23	7	8	3	1	2	3	2	2	0	0	37:52
14		サンブ アストゥー	2	0	0	1	6	0	0	4	5	2	7	3	0	2	1	12:52
15	*	シラ・ソカナ・ファトージャ	17	0	0	7	15	3	3	5	4	5	9	2	2	2	3	25:34
Team / Coach:		伊藤 翔太	/	/	/	/	/	/	/	0	5	4	9	0	/	/	/	/
合計			68	4	21	22	70	12	13	17	22	24	46	12	9	7	8	200
RATE				19.0%		31.4%		92.3%										

主審	須黒 祥子	副審	宇地原尚彦
----	-------	----	-------



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4			
TeamA	2:29	:	29:35	39:38	39:55	:	:	:	:
TeamB	6:45	16:04	25:44	31:15	36:46	:	:	:	:

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

ともにインサイドの大黒柱を中心に強さを見せて勝ち上がった。伝統校札幌山の手高校と新進気鋭の開志国際高校との女子準々決勝。シード校同士の対戦は、手に汗握る大接戦となった。

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。札幌山の手は#4のポストアップ、開志国際は#13のドライブインや#15のバスケットカウントで得点し、激しい主導権争いを繰り広げる。開志国際は#15が内外に活躍し、得点を積み上げる一方で、札幌山の手は#7の連続ジャンプシュート、#4のゴール下、#6の3Pと流れを引き戻し、残り1分半には#4のバスケットカウントで19対19の同点とする。残り10秒、#4のバスケットカウントで札幌山の手が逆転、22対19とリードを奪って第1P終了。

第2P、開始から札幌山の手はプレッシャーを強め#12のスティールから得点、攻勢に出る。対する開志国際も#12の得点や#7の3Pで譲らない。残り4分、またも札幌山の手#12がスティールから得点し、33対31としたところで開志国際はたまたまタイムアウト。その後も札幌山の手#14の得点、#6の3P、開志国際#13のドライブインや#12の3Pと一進一退の攻防が続く、45対38と札幌山の手がリードを7点にじわりと拡げて前半終了。

第3P、開志国際は#12の3P、#13のドライブインで詰め寄るが、札幌山の手も#7、#12、#6の3Pで突き放す。ともに譲らず迎えた残り2分、札幌山の手#14のアシストから#4のバスケットカウントで、開志国際#15が痛恨の4ファウル。代わった#14も立て続けに4ファウルを犯してしまう。このピリオドで開志国際は57対55と差を2点に縮めることができたものの、大きな不安を抱えたまま勝負は第4Pへ。

第4P、札幌山の手は#4のステップイン、フックシュートで得点、インサイドを激しく攻めた。残り5分、開志国際#15が5ファウルの退場。畳み掛けるように札幌山の手#6が3Pを沈め、71対63とリードを再び拡げたところで開志国際はたまたまタイムアウト。タイムアウト明けから開志国際は#13の1対1を中心に攻め追上げるものの、逆転には至らない。開志国際は最後までプレッシャーをかけたが、札幌山の手は落ち着いてゲームをコントロールして試合終了。74対68で札幌山の手が準決勝へ駒を進めた。両チームともに高い能力をもってバスケットに向かう激しい攻防のなかで、札幌山の手が試合巧者ぶりが際立った試合であった。

戦評	大瀬 元貴
----	-------

記録	高陽高校
----	------